

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.172 2016年12月19日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：小林 光俊

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



都道府県協会等代表者会議を開催

新たな高等教育機関、専門職業大学(仮)について議論

11月25日、東京都・アルカディア市ヶ谷において、都道府県協会等代表者会議が開催された。出席者は47都道府県代表者。はじめに小林光俊会長が開会あいさつに立ち、専門職業大学（仮）制度設立により高等教育が複線化され、専修学校が担ってきた職業教育がプロフェッショナルラインとして位置付けられること、産業界全体の生産性の向上及び人材の底上げを図るために専門職業大学（仮）で社会人の学び直し制度を整備し充実することが不可欠であること、日本がアジアの職業教育のハブ機能を果たし国際社会に貢献する人材育成の充実を実現するために日本で学ぶ意欲がある留学生の受入れの拡大が不可欠であること、そして人口減少社会の中で経済成長を持続させていくために新学校制度、学び直し制度、留学生の受入れに関する法整備その他あらゆる政策の実現に向けた働きかけを関係省庁に行い、より一層職業教育を発展させていくことが重要である、と述べた。続いて山谷えり子専修学校等振興議員連盟副会長・参議院議員が来賓あいさつを行った。山谷議員退席後、白鳥綱重文部科学省専修学校教育振興室長から配布資料に基づき、これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議、平成29年度専修学校関係予算概算要求、職業実践専門課程、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関、ジョブ・カード制度の推進と専修学校における活用事例等について説明が行われた。特に専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業では、平成29年度が事業最終年であることから、各学校、都道府県担当部局の積極的な参加を求めた。続いて、質疑応答では、新たな高等教育機関の申請準備を行う場合、文部科学省内に事前相談体制を整備して欲しいとの意見、また、設置基準における教員資格について、大学の教員資格制度が準用されることでこれまで職業教育と学校運営を中心的に担ってきた教員や職員が活躍の場を失うというようなことが無いよう、引き続き役割を担い続けることが可能な制度となるような基準の設定に関する意見が出された。

小憩後、事務局より配布資料に基づき、第8期中央教育

審議会大学分科会「今後の各高等教育機関の役割・機能の強化に関する作業チーム」、犯罪による収益の移転防止に関する法律施行細則の一部改正による入学金等の納付手続きの取扱い、著作権法の一部改正案への対応、厚生労働省施策である専門実践教育訓練認定状況、自由民主党専修学校等振興議員連盟への要望活動、平成28年度ブロック会議報告及び平成28～29年度の主な日程について説明。続いて赤池誠章専修学校等振興議員連盟事務局次長・参議院議員が来賓あいさつを行った。

続いて、岡本比呂志全専各連副会長が、日本学生支援機構の留学生学習奨励金の配分方法について、制度の不備及



開会あいさつを述べる小林光俊会長



来賓あいさつを述べる山谷えり子参議院議員



来賓あいさつを述べる赤池誠章参議院議員

び改善について機構に申入れを行ったことを報告するとともに、今後は制度の改善に向けて全専各連を主体とし組織的な対応を行っていくべき、との意見を述べた。小林会長は、あらゆる面においての教育格差の是正及び意欲ある学生が安心して学べる社会の実現に向けて、世論及び行政等に対してより一層積極的な働きかけを行っていくべき、との意見を述べると共に、出席者に重ねての諸活動への支援の要請を行った。

質疑応答では、都道府県別助成状況報告のうち、都道府県における職業実践専門課程校への補助金獲得に対する質問について、事例紹介として補助金が計上されている愛媛県、香川県、茨城県、神奈川県、島根県の状況と担当部局と調整が進んでいる沖縄県の状況について説明が行われた。

最後に、福田益和副会長より閉式の言葉が述べられ、会議を終了した。

代表者会議に先立ち役員表彰式

11月25日、東京都・アルカディア市ヶ谷において、都道府県協会等代表者会議に先立ち役員表彰式が開催された。

はじめに事務局より、役員表彰要件（功績が顕著であ

ること、在任期間が2期4年以上、役員を退任した者）について説明後、各県より推薦を受け、常任理事会で承認を受けた受賞者8名（敬称略：福島県：岡部隆男、石川県：徳野正一、福井県：赤星哲志、長野県：成田守夫、岐阜県：齋木寛治、滋賀県：外池和彦、広島県：永見憲吾、福岡県：中村哲）を紹介（表彰式出席者3名、欠席者5名）。

続いて、小林光俊会長が、これまで全専各連の活動を支えてきた受賞者に対して、感謝と尊敬の意を述べた後、表彰状と記念品が授与された。

最後に、受賞者を代表して、中村哲先生より謝辞が述べられ、表彰式を終了した。



右から表彰式に出席した外池先生、赤星先生、小林会長、中村先生

これからの専修学校の振興のあり方検討会議

第5回以降、「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」（検討会議）は、有識者・専修学校関係者のヒアリングや学校視察を中心にして次のとおり開催された。

〔第5回（平成28年9月29日）〕

9月上旬に検討会議の審議経過報告が公表されて初めての会議では、参加委員による専門学校の視察に続き、有識者ヒアリングとして日本私立大学協会会長（全専各連初代会長）で（学）文化学園の大沼淳理事長が「専修学校の『これまで』と『これから』について」をテーマに、戦後の新学制の体系整備と各種学校の高度化の進展、教育に対する国の役割と専修学校の制度化運動の関係、学校教育法改正案や設置基準案の策定時の課題（柔軟性の担保、教員の資格や養成等）及び社会との接点の高等教育への移行と複線型教育体系における専修学校の役割等を説明し、専修学校の今後の展望（教育課程における教養教育と専門的実学教育の両者の位置づけの重要性等）を提起した。その後、参加委員による質疑応答・全体討議を行った。

〔第6回（平成28年10月17日）〕

有識者ヒアリングとして「専修学校教育の質保証と第三者評価について」をテーマに（独法）大学改革支援・学位授与機構の川口昭彦顧問・名誉教授が、高等教育のパラダイム・シフト、保証すべき「質」、大学等の認証評価制度、専修学校の質保証の方向性、専門職高等教育質保証機構の

試行評価など質保証・評価の背景や方向性等を説明。まとめとして「専修学校の第三者質保証システム（学修成果を基盤とする質保証）」、「質リテラシー（学内での“質の文化”や“質保証文化”の確立）」、「何のための学校評価か（学校の諸活動の質改善・向上や質保証等の目的を達成するための手段）」、「相互の信頼から社会の信頼へ（学校の内部質保証及び第三者質保証による社会の信頼の獲得）」など今後の在り方を提起した。その後、参加委員による質疑応答・全体討議を行った。

〔第7回（平成28年11月21日）〕

地方の専修学校の現状や取り巻く環境等を把握し、議論を深めていくため福岡県で開催。まず会議開催前に参加委員が福岡市内の専門学校を視察した後、専修学校関係者からのヒアリングを実施した。最初に「福岡県の専修学校の概況」をテーマとして（一社）福岡県専修学校各種学校協会（協会）の岩本仁会長らが福岡県の概要（産業や人口、地理・訪日外国人、私立学校数・学生数）、協会の取組（職業実践専門課程の認定促進、中小企業経営者協会連合会等との連携、留学生の就職支援、地方発グローバル人材育成、高等学校進路指導研究協議会との連携等）を説明した。引き続き事例発表として、（学）麻生塾から森山泰行専務理事、福澤仁志常務理事及び設置する専門学校のうち2校の校長代行が参加し、麻生情報ビジネス専門学校北九州校での

「まち・ひと・しごと創生における自治体との連携」（企業誘致・雇用創出を目的とした北九州市とIT企業との三者連携事業の実績と相互の効果等）、麻生建築&デザイン専門学校での「地域・団体・企業との連携—シバタハウスプロジェクト—」（県内の工務店やインテリアコーディネーターの各任意団体、全国の塗装集団との連携による難病の子どもと家族へ病院隣接型ゲストハウスを提供する事業その他行政等と連携事業の実績等）を報告した。その後、参

加委員による質疑応答・全体討議を行った。

なお、検討会議は12月以降、毎月1回のペースで開催し、来年3月に報告を取りまとめる予定となっている。

※検討会議の会議資料・議事録は次の文科省サイトでダウンロード可能。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/034/index.htm

心よりお祝い申し上げます 秋の叙勲・褒章の受章者

平成28年度秋の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。

長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、心よりお祝い申し上げます。（敬称略）

*旭日大綬章

北澤 俊美（長野県・長野医療技術専門学校 理事長）

*旭日小綬章

小池 千代子（埼玉県・専門学校東萌ビューティーカレ

ッジ 理事長）

*瑞宝双光章

崎村 俊裕（神奈川県・崎村調理師専門学校 理事長）

*瑞宝単光章

谷内 眞佐子（北海道・北海道文化服装専門学校 校長）

十川 聖三（香川県・専修学校香川県美容学校 校長）

平成28年度ブロック会議開催状況

今年も、以下のブロック会議が開催されました。詳細につきましては、全専各連ホームページ内の「広報全専各連

プラスWEB」に掲載いたします。

○南関東ブロック会議（10月28日（金）神奈川県・崎陽軒本店 参加者約200名）



一般財団法人
職業教育・キャリア教育財団

TCE財団第123回理事会

東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団第123回理事会を10月18日に開催した。

出席理事11名、監事2名を得て開会。福田益和理事長から開会のあいさつが述べられた後、理事長が議長に就任。定款により議事録署名人、決議成立の要件を確認し、審議に入った。

はじめに【第1号議案 平成28年度事業中間報告】に関して、配布資料をもとに事務局が教員研修・研究、文部科学省委託事業、認定、表彰、評価・認証、検定、保険、出版・広報等の各事業内容について説明。質疑応答の後、特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

次に【第2号議案 平成28年度第2次補正予算】に関しては、配布資料をもとに事務局が文部科学省委託事業（専修学校留学生就職アシスト事業）の採択決定を受けての補

TCE財団だより

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://jken.sgec.or.jp/>

B 検 <http://bken.sgec.or.jp/>

正であることを説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

続いて【第3号議案 評議員会の招集について】に関しては、配布資料をもとに事務局が第84回評議員会の招集について説明。特に異議なく、全会一致で原案どおり拍手承認。

最後に報告事項として、来年度の理事会・評議員会のスケジュールについて説明され、以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議事を終了した。

情報検定J検 出願状況

2016年後期情報検定（J検）情報活用試験 ペーパー方式（平成28年12月18日実施）、ならびにC B T方式（平成28年10月1日～11月18日受付）の出願者数が次のとおりまとまった。

ペーパー方式

出願団体数 35団体

1級 982名

2級	884名
3級	515名
C B T方式	
出願団体数	39団体
1級	136名
2級	375名
3級	299名
合計	3,191名

なり、盛会のうちに全日程を終了。

教員国内派遣研修事業 教員研究奨励事業

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団（T C E財団）では、専修学校教育の振興と専修学校教員の資質向上に資することを目的として、下記の研修事業・研究事業の参加者を募集しています。

- ①教員国内派遣研修事業…国内の教育・研究機関又は企業等に一定期間派遣し、知識及び技術を研修し、研究成果を論文としてまとめる。
- ②教員研究奨励事業…研究活動を推進・奨励し、研究成果を論文としてまとめる。

参加希望校は、T C E財団事務局に各申請書類を平成29年1月16日までにご提出ください。

詳しくは、T C E財団事務局へお問い合わせください。

ビジネス能力検定B検ジョブパス出願状況

平成28年12月4日（日）に文部科学省後援ビジネス能力検定ジョブパス後期試験（B検）が実施された。出願状況は次のとおり。

出願団体数	167団体
会場数	146会場
出願総数	14,004名
3級 出願者数	11,479名
2級 出願者数	2,525名

（通年実施のC B T方式は含みません）

管理者研修会を全国3会場で開催

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団（T C E財団）と全専各連と全専協の共催により、管理者研修会が全国3会場（11月14日：福岡県・福岡ガーデンパレス、11月28日：大阪府・大阪ガーデンパレス、12月7日：東京都・アルカディア市ヶ谷）で開催された。受講者は福岡会場約50名、大阪会場約70名、東京会場約105名。

最初に、「中央教育審議会大学分科会の審議状況と今後の高等教育政策の検討に対する専門学校の対応」を中央教育審議会大学分科会委員・日本工学院専門学校長千葉茂氏が講演。

小憩後、「専修学校を巡る動向について」を、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室より、福岡会場では筒井諒太郎専修学校第一係長、大阪会場では星川正樹室長補佐、東京会場では白鳥綱重室長が説明。

いずれの講演も専修学校の将来について意義深い内容と

平成29年版全国専修学校総覧 お詫びと訂正

本年9月に刊行いたしました平成29年版全国専修学校総覧において下記の誤りがありました。ここにお詫びし訂正いたします。

○群馬県美容専門学校（P.93）（学）群馬県美容学園
〒371-0006 前橋市石岡町136-1 027.230.2266
専門 衛生 美容師，エステティック，
ビューティスタイリスト，ビューティテクニカル

○九州国際高等学園（P.224）正）0952.50.7291

*以下の学校において掲載した学科は存在していません。

宮城県

○仙台Y M C A国際ホテル製菓専門学校（P.76）ブライダルプランナー

福島県

○国際アート&デザイン専門学校（P.83）ライフスタイルコーディネート、デザイン研究

東京都

○聖徳大学幼児教育専門学校（P.110）幼児教育

井戸和男 T C E財団評議員がご逝去

10月6日、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団評議員の井戸和男先生（77歳）が逝去されました。

井戸先生は、平成10年12月（当時は、財団法人専修学校教育振興会）より本年まで当財団の評議員として検定

事業の振興を中心としてご活躍いただきました。

ここに生前の井戸先生のご功績を偲び、心より哀悼の意を表します。

○目白ファッション&アートカレッジ (P.110) キッズファッション
新潟県

○国際ペットワールド専門学校 (P.135) ネイチャーアクアリウムベーシック
石川県

○アップルスポーツカレッジ (P.135) スポーツ教育

○伝統文化と環境福祉の専門学校 (P.138) 教養
石川県

○専門学校金沢文化服装学院 (P.141) デザイン専攻

○金沢医療事務専門学校 (P.142) ビジネスライセンス
長野県

○文化学園長野保育専門学校 (P.146) 介護福祉専攻

○専門学校長野ビジネス外語カレッジ (P.147) 国際
静岡県

○専門学校東海工科自動車大学校 (P.153) 1学科
三重県

○桑名文化専門学校 (P.166) 被服本科
兵庫県

○神戸YMC A学院専門学校 (P.185) インターナショナル・コミュニケーション、フィットネス、スポーツ

○神戸国際調理製菓専門学校 (P.186) パティシエ
奈良県

○奈良コンピュータ専門学校 (P.190) 建築CAD設計
広島県

○広島会計学院電子専門学校 (P.200) 情報処理

○I W A D環境福祉専門学校 (P.201) 介護福祉

○穴吹ビューティ専門学校 (P.203) エステシャン

○穴吹情報デザイン専門学校 (P.203) W e b総合

○穴吹医療福祉専門学校 (P.203) オフィス総合
愛媛県

○河原電子ビジネス専門学校 (P.212) C G・W e bクリエイター
福岡県

○K C S北九州情報専門学校 (P.215) 情報ライセンス

○製菓・医療九州ビジネス専門学校 (P.216) スイーツ

○福岡ビューティーアート専門学校 (P.218) プライダ
ルプロデュース

○専門学校コンピュータ教育学院大橋校 (P.221) ロボット制御工学

○福岡Y M C A国際ホテル・福祉専門学校 (P.221) 国際ホテル、国際ホテル専攻
熊本県

○八代実業専門学校 (P.230) 情報経理
大分県

○K C S大分情報専門学校 (P.232) 情報プロセス
宮崎県

○宮崎マルチメディア専門学校 (P.234) 医療ビジネス

○トライアート・カレッジ (P.235) ファッションテクニカル
沖縄県

○沖縄福祉保育専門学校 (P.239) 介護福祉

○S O L A沖縄保健医療工学院 (P.240) マリンスポーツ、幼児教育

○スターウッドB e B美容専門学校 (P.240) ペットビューティー、国際観光

平成28・29年度 予定日程

<役員会・総会等>

- 全専各連第124回理事会・全専協理事会合同会議
平成29年2/23 (木)
東京都・アルカディア市ヶ谷
- 全専各連第66回定例総会・第125回理事会
平成29年6/21 (水)
東京都・アルカディア市ヶ谷
- 全国学校法人立専門学校協会定例総会・理事会
平成29年6/22 (木)
東京都・アルカディア市ヶ谷

<平成29年度ブロック会議>

- 中国ブロック会議
平成29年7/13 (木)
山口県・湯田温泉ホテルニュータナカ
- 近畿ブロック会議
平成29年7/21 (金)

兵庫県・神戸メリケンパークオリエンタルホテル

- 九州ブロック会議
平成29年7/27 (木)・28 (金)
鹿児島県・ホテルパレスイン鹿児島
- 四国ブロック会議
平成29年8/4 (金)
愛媛県・東京第一ホテル松山
- 北関東信越ブロック会議
平成29年8/22 (火)
茨城県・ホテルレイクビュー水戸
- 中部ブロック会議
平成29年8/24 (木)・25 (金)
岐阜県・ホテルグランヴェール岐阜
- 北海道ブロック会議
平成29年9/14 (木) から16 (金) のうち2日
北見市・ホテル黒部

●東北ブロック会議

平成29年10/13 (金)

青森県・青森国際ホテル

●南関東ブロック会議

平成29年10/27 (金)

千葉県・京成ホテルミラマーレ

< T C E 財団役員会 >

●第124回理事会・第84回評議員会

平成29年 3 / 17 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●第125回理事会

平成29年 6 / 7 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●第85回評議員会

平成29年 6 / 30 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●第126回理事会

平成29年10/18 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

< その他会議 >

●平成29年度事務担当者会議

平成29年 4 / 21 (金)

東京都・アルカディア市ヶ谷

< 研修会・説明会 >

●専門学校教育訓練・運営に係る内部質保証人材の養成講習

平成29年 2 / 7 (火)・8 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

●全専各連・全専協予算説明会

平成29年 3 / 8 (水)

東京都・アルカディア市ヶ谷

< 検定試験 >

●文部科学省後援・情報検定 (J 検)

◇平成28年度後期試験

【情報システム】平成29年 2 / 12 (日)

◇C B T 試験

【情報活用・情報システム・情報デザイン】

実施期間：随時

※情報デザインは、C B T 方式のみで実施。

●文部科学省後援・ビジネス能力検定 (B 検) ジョブパス

◇C B T 試験

【1 級】平成29年 2 / 4 (土) ~ 12 (日)

【2 級・3 級】実施期間：随時

平成28年熊本地震義援金について

平成28年熊本地震義援金について、11月21日付にて一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会に、義援金(受付期間:6月2日から10月31日)送金総額8,959,273円を送金いたしましたことをご報告申し上げます。ここに、改めまして皆様からお寄せいただきました温かいご厚意に厚く御礼申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

広報全専各連プラスWEB
掲載記事一覧

詳細は全専各連ホームページ [広報全専各連] →プラスWEBよりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/>

■ ブロック会議概要報告 (南関東)

■ T C E 財団教職員・学習者等表彰

■ イベント・研修会など

< T C E 財団 >

○ 専門学校留学生担当者研修会

○ 未来ノート研修会

< 部会・関係団体等 >

○ 全国私立学校審議会連合会総会

○ 全国学生技術コンテスト (理容美容)

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫(国の教育ローン)「災害特例措置」のご案内

平成28年熊本地震、東日本大震災などにより被害を受けた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

日本政策金融公庫(国民生活事業)は、「国の教育ローン」につきまして、震災により被害を受けた皆さまに対して、貸付利率の引下げなどの「災害特例措置」を実施しています

お問い合わせは、**教育ローンコールセンター 0570-008656 (又は03-5321-8656)**



■情報検定(J検)は情報教育の柱となる「創る・使う・伝える」の三要素を網羅し、これからも学校教育を支援していきます。

<http://jken.sgec.or.jp/>

情報活用試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)
平成29年度前期

試験日 平成29年6月18日(日)

出願期間 手書願書—4月1日～5月15日(願書必着日)
電子願書—4月1日～5月22日(〃〃)

実施級/受験料 1級—4,500円
2級—4,000円
3級—3,000円

情報デザイン試験

CBT方式のみ

詳細はJ検HPを参照下さい。

実施級/受験料 初級—4,000円
上級—4,500円

情報システム試験

ペーパー方式(団体出願のみ実施)
平成29年度前期

システムエンジニア認定
プログラマ認定

試験日 平成29年9月10日(日)

出願期間 手書願書—6月1日～7月21日(願書必着日)
電子願書—6月1日～7月27日(〃〃)

実施級/受験料 基本スキル—3,500円
システムデザインスキル—3,000円
プログラミングスキル—3,000円

情報検定全科目でCBT方式がご利用いただけます!

*パソコン画面で受験できる試験方式です。

従来のペーパー方式に加え、CBT(Computer Based Testing)方式でも実施いたします。

*個人受験をご希望の方はCBT方式をご利用ください。

◇各試験で随時受付中です。

◇受験料はペーパー方式と同一料金です。

◇自由に試験日が設定でき、合格結果もその場で分かります。

J検CBT無料体験版でお試しいただけます。(ホームページよりご利用ください。)

◇「併願受験」をサポートするプランも実施中です。

不合格、または欠席となった科目は1年間合格するまで何度でも受験できます。

(団体のみ対象。登録資格はwebにてご確認ください。)



文部科学省後援

ビジネス能力検定ジョブパス

(<http://bken.sgec.or.jp/>)

2015年10月から従来のペーパー方式(全国一斉)に加えて

新たに2級、3級にもCBT方式を導入しました。(1級はCBT方式のみ)

(検定試験の最新情報は、B検ホームページにてご確認ください)

1級(2016年度後期)

■後期試験/平成29年2月4日(土)～

2月12日(日)

(上記期間内から選択可。ただし会場設営状況による。詳細はホームページをご覧ください)

■出願期間/団体受験:12月5日(月)～

試験日の2週間前まで

/個人受験:12月5日(月)～

試験日の3週間前まで

■実施級・受験料/1級(8,500円)

(2級合格者が所定の期間に受験する場合5,500円※但し、1回のみ)

【想定受験者と評価内容】

●就職活動を展開中の大学生・専門学校生等から入社1年目から3年目程度の社会人。●2級の知識、技法を前提とし、問題解決を円滑に推進するために必要となる論理的な思考、情報発信と表現技法、および基礎的なマネジメント技法を実践的に評価する。

2級・3級(2017年度前期)[ペーパー方式]

■前期試験/平成29年7月2日(日)

■出願期間/4月1日(土)～5月19日(金)

■実施級・受験料/2級(4,200円)

3級(3,000円)

【想定受験者と評価内容】

2級●就職活動のスタートを間近に捉えた大学生、専門学校生等から社会人1、2年目程度。●3級の知識を前提とし、企業の役割や責任と権限などを理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための基本的なコミュニケーション、情報活用の技法を評価する。

3級●就職活動を視野に捉えた、高校3年生、大学生・専門学校生等●入学者自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を評価する。

I. 文部科学省認可 学生・生徒24時間共済

平成27年11月に文部科学省認可を取得した、キャリア教育共済協同組合が設立され、その事業として「学生・生徒24時間共済」がスタートしました。

24時間で学生・生徒様をトータルサポートする「教育業界独自」の共済制度です。

- 天災補償・国内外補償かつ24時間補償と充実した補償内容
- もしものために、保証人の死亡はケガのみならず全疾病も補償
- 学生・生徒（留学生含む）の名簿提出は不要、契約時は暫定人数で契約可能
- 共済事業から発生する収益の一部を、剰余金として還元
(共済認可番号：27受文科総第1714号)

II. 火災保険〈リスク評価割引〉

学校関連施設毎の割引の提供が可能。学校関連施設及び機械設備について物件評価をし、保険金額の見直しにより適切な火災保険に無駄なく加入される為の支援をいたします。またこれらリスクマネジメントサービスを活用していただくため、会員校向け火災保険コールセンターを設置しサービスのご提供をいたします。

III. 非常勤教職員新補償制度

年々増加傾向にある非常勤教職員の補償を充実させるため、労災の適用対象とならない非常勤プランをご提案いたします。実際の就業時間等のデータに基づいたプラン設計となっております。労災保険の上乗せとして常勤教職員の加入もいただけます。

当補償制度では、常勤・非常勤教職員の総勤務時間平均により保険料を計算するため、無駄の無い保険料設定となります。地震・津波・噴火等の天災に起因した事故も自動的に補償します。傷害のみならず、熱中症・細菌性食中毒・特定疾病も補償対象です。政府労災適用の有無に関係なくこの補償制度をご利用いただけます。

【お問合せ先】 文部科学省認可（組合認可番号：27受文科総第1713号／共済認可番号：27受文科総第1714号）

キャリア教育共済協同組合 ☎ 0120-014-888

本部事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25

全国専修学校各種学校総連合会／一般財団法人職業教育・キャリア教育財団事務所内
大阪事務局 〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町9丁目1-22

専修学校・各種学校の保険ご担当者さま

学生・生徒・学校のリスクをカバーします!!

こんな事で
お悩みではありませんか？



- 学校で生徒が事故にあったら大変..
- 学生がインターシップ先でトラブルを起こしてしまったら.....
- 自転車通学中の事故が多いと聞くけど..

もしものときに手厚く補償。
安価な保険料で、安心の学校生活・学校運営を!

Point
1

「専修学校・各種学校の実情を熟知した財団が監修」
安い保険料で、広く大勢の学生のリスクをカバーしています。

Point
2

「学生・生徒のために」
企業での就業体験としてのインターシップが増え、それに伴い機械の誤作動によるケガや、機材の破損などに対する賠償責任事例も増加しています。本保険はインターシップ中のトラブルにも対応しています。また、医療現場でのケガやトラブルにも対応しています。

Point
3

「学校のために」
学校教育活動全般を補償するのはもちろん、個人情報の社への流出など、社会的な打撃が大きい情報リスクにも対応しています。(マイカバ-対応可)

NEW!

平成28年度から、個人情報漏洩保険が新しくなりました！拡充タイプ(サイバーリスク保険)では不正アクセス等のおそれを見つけた時点で(情報漏えいの有無にかかわらず)で保険金をお支払いいたします。

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団がつくった、専修学校・各種学校のための保険です。そのため、キメの細かさにご自信があります。

加入校は約 **1,570** 校
加入者は約 **22** 万人 (平成27年度)

さらに
学校単位の加入で、
申し込みも簡単!

ご希望の多い保険の組合せ例
学生・生徒 災害傷害保険 + インターンシップ 活動賠償責任保険

<取扱代理店> 株式会社 第一成和事務所
東京都中央区日本橋久松町11番6号 日本橋T&Sビル8階

お問合せ先 TEL.03-3669-2831

引受保険会社(特選)



東京海上日動火災保険株式会社



三井住友海上



損保ジャパン日本興亜

(担当課) 公務第2部文教公務室 東京都千代田区三善町6-4 電話 03-3515-4133

インターンシップ活動賠償責任保険、個人情報漏えい保険、サイバーリスク保険につきましては、東京海上日動火災保険㈱の単独引受となります。

学生・生徒災害傷害保険、医療分野学生・生徒賠償責任保険、学校賠償責任保険につきましては、上記引受会社による引受保険契約であり、東京海上日動火災保険株式会社が他の引受保険会社の代理、代行を行います。引受保険会社は、契約締結時に決定する引受会社に対して、委託することなく専断的に保険契約上の責任を負います。なお、引受契約に基づき、引受保険会社に連絡ください。このご案内は、各保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず各保険の引受会社や重要事項説明書をよくお読みください。不明な点がある場合は引受会社までお問い合わせください。